



馬場小学校 「スタートカリキュラム」 について

横浜市立馬場小学校

4月の1学年保護者懇談会でお伝えした内容を、ホームページにも掲載します。今年度入学の、また今後、馬場小学校に入学予定のお子様をもつ保護者の方にご覧いただけたら嬉しいです。横浜市こども青少年局発行の「安心して入学を迎えるために」のリーフレットをベースに説明しました。

スタートカリキュラムについて



横浜市のリーフレット「安心して入学を迎えるために」の表紙
子どもの姿が素敵です。
馬場小学校の目指す、
自らがやく子
ともにかがやく子
も、こんな姿がイメージできます。

スタートカリキュラムについて

- ☆市の取組みとして馬場小も充実させる
 - ・入学当初は園の生活に近い場を設定
 - 安心して過ごせる環境づくりを工夫しています
 - ・子どもの「やってみたい」を大切に
 - 園での育ちと学びが小学校で発揮されるようにはたらきかけています

1年生の学校生活（パンフレットから）

入学式

入学式もスタートカリキュラムの1日目として、工夫している学校もあります。



学校には
ウーパールーパーが
いるんだって！
探しに行きた〜い！

入学式の最中に、
「学校の中で〇〇を探してみてね」
というお手紙が届きました

なかよしタイム

安心して学校生活を始められるように
工夫された活動



すごい模様
になったね



この曲知ってる
わたしおどれるよ！

ぼくも！

横浜市のリーフレットを開くと、このような工夫が紹介されています。今年度、馬場小学校でも、入学式の学校長のあいさつを工夫しました。また、なかよしタイムの充実をはかっています。

1年生の学校生活（パンフレットから）

わくわくタイム

生活科を中心とした
合科的な学習



大きなスプーン?!
何に使うんだろう

ここは何の部屋?
だれがいるから
聞いてみよう



ぐんぐんタイム

教科等を中心とした学習



ドキドキしたけど、
お話をしたら、
友達が聞いて
くれたよ!



絵を描くのって
やっぱり楽しい!

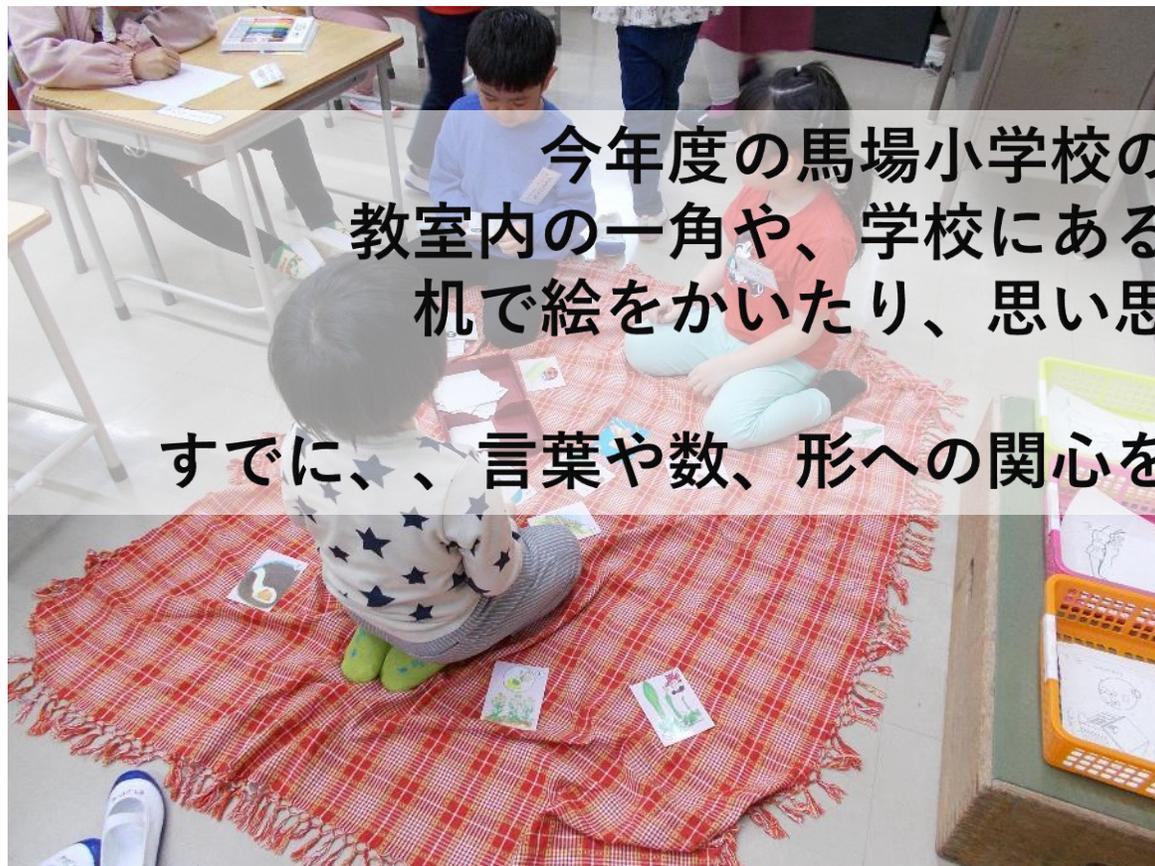


いちばん大きな数
を出すのはだれかな?

さらにリーフレットでは、生活科を中心にした学習や、緩やかに教科等の学習につなぐ様子が描かれています。

1年生の学校生活（馬場小学校）

馬場小学校での様子

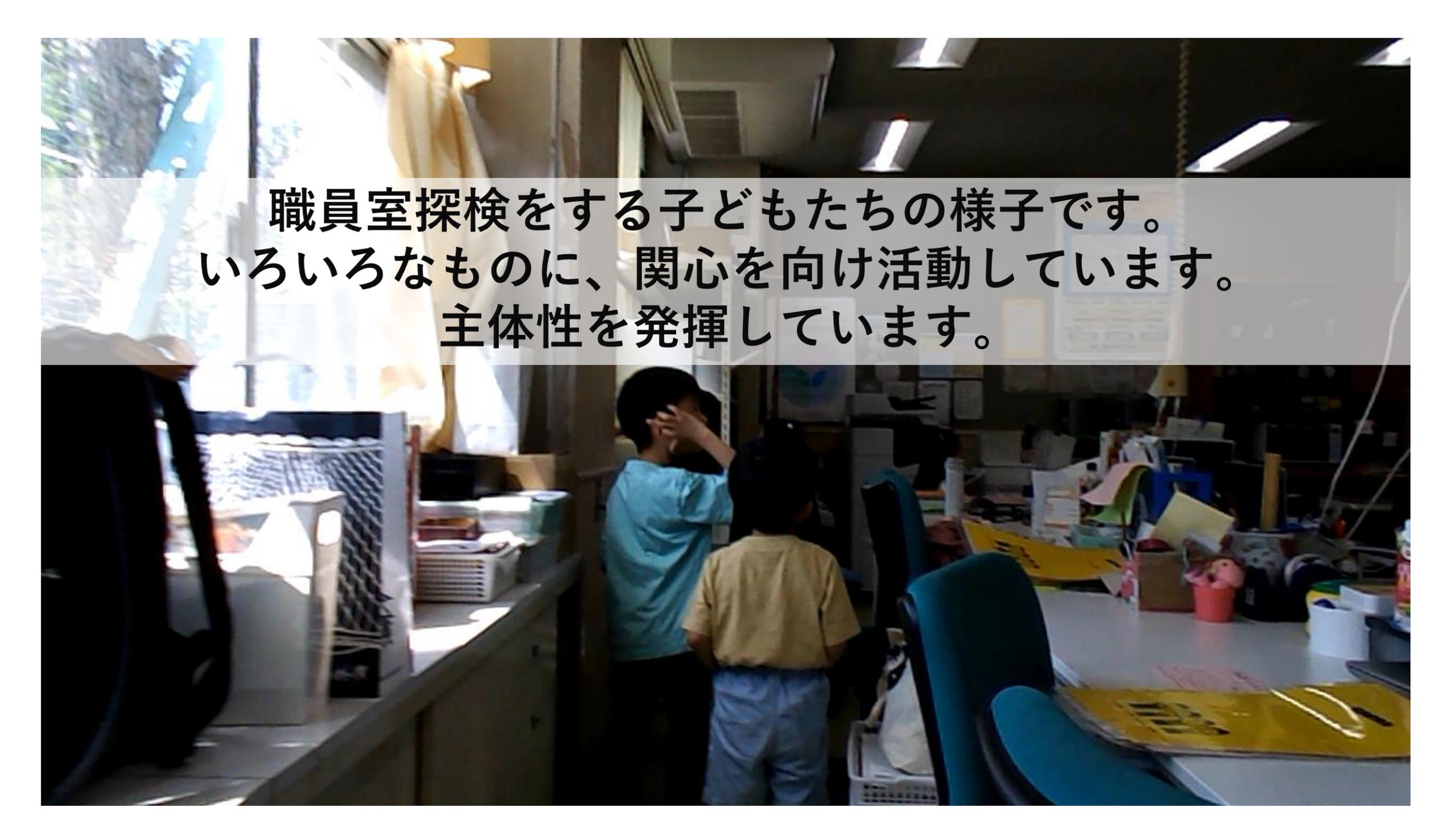


今年度の馬場小学校の入学式翌日の様子です。
教室内の一角や、学校にあるドミノなどを使って遊んだり、
机で絵をかいたり、思い思いに遊ぶ様子がありました。

すでに、、言葉や数、形への関心を、わたしたち教師は見つけています。

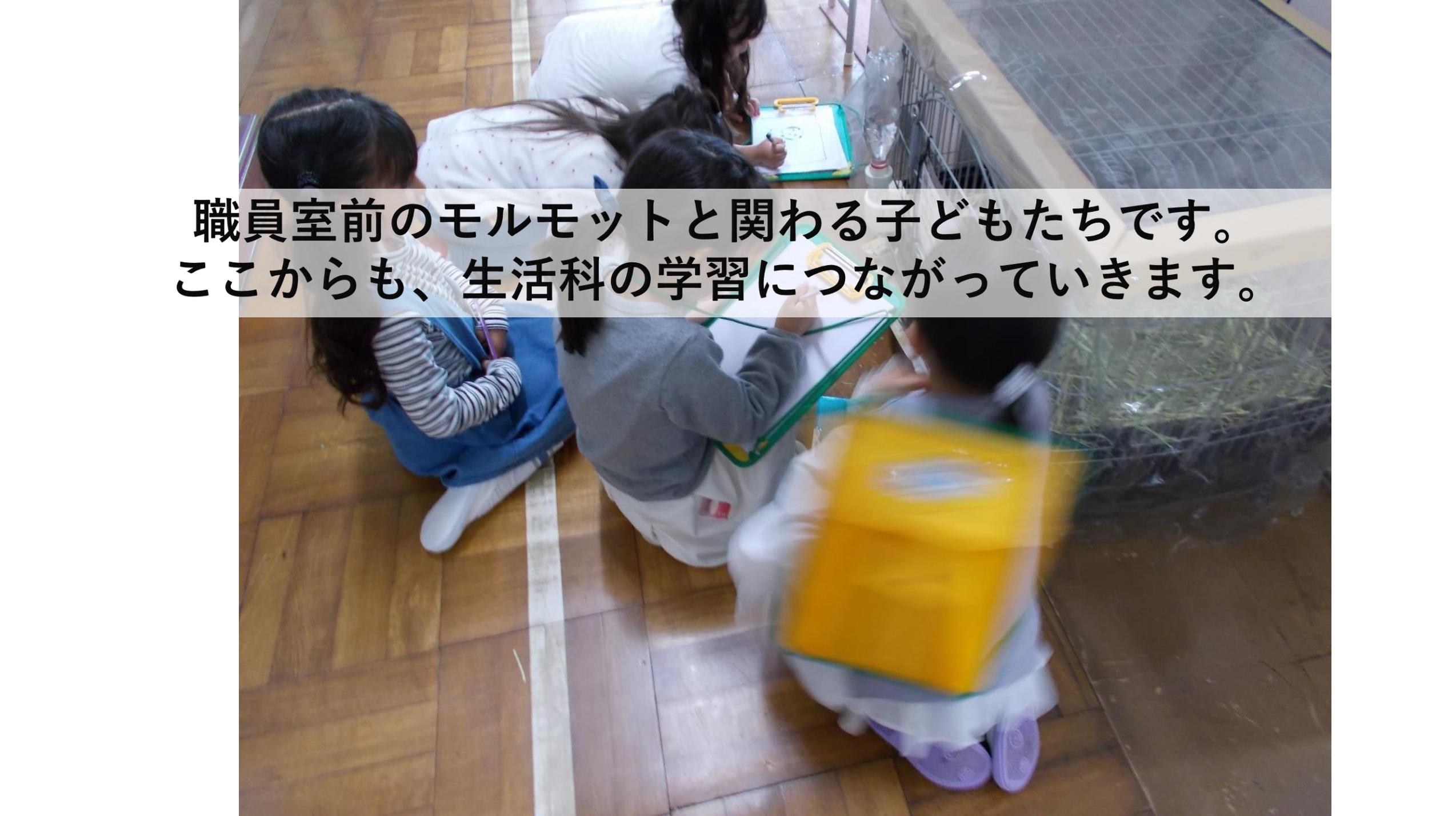


(※個人情報保護の観点から、あえて字幕を写真に重ねています。)



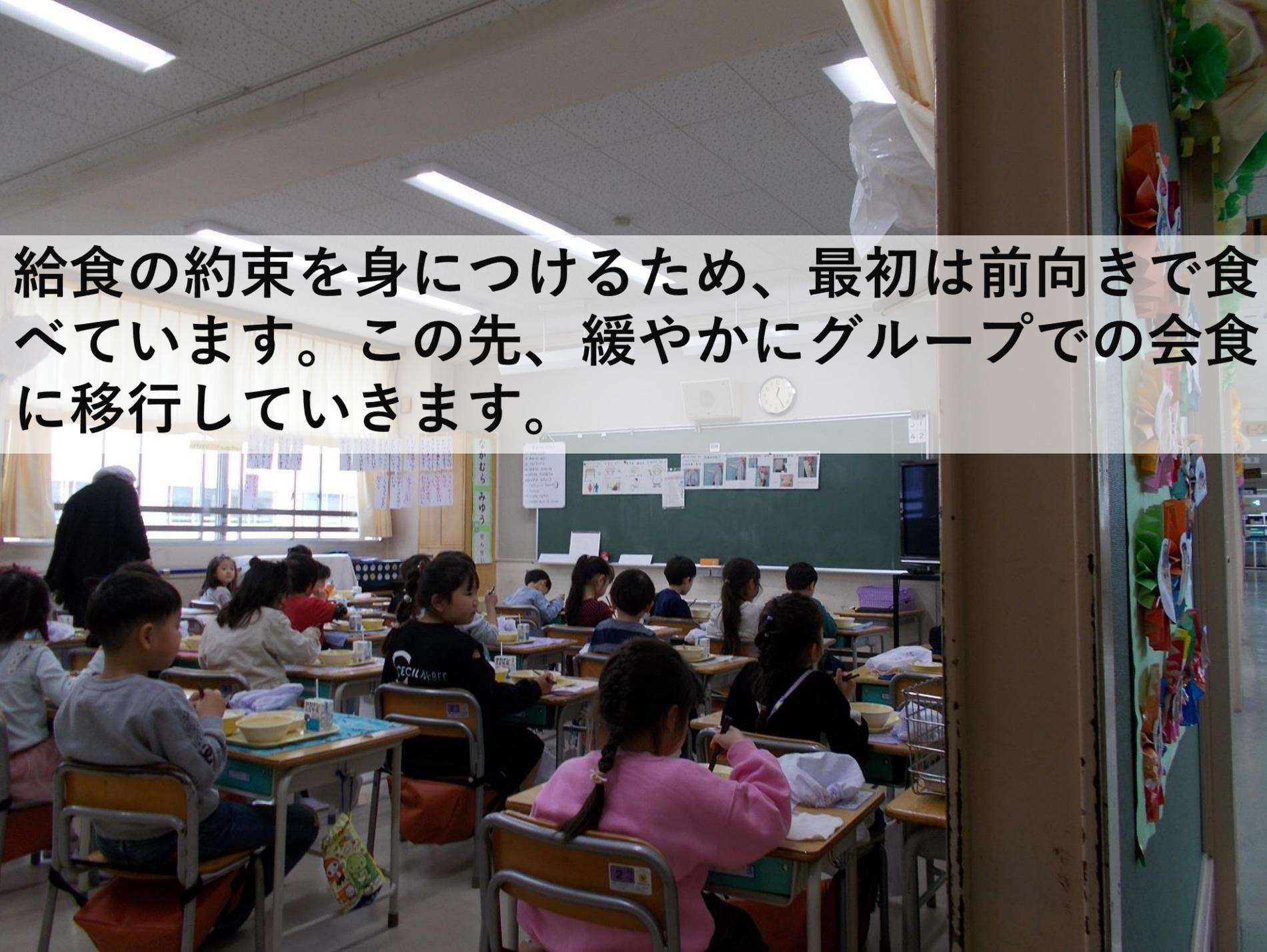
職員室探検をする子どもたちの様子です。
いろいろなものに、関心を向け活動しています。
主体性を発揮しています。





職員室前のモルモットと関わる子どもたちです。
ここからも、生活科の学習につながっていきます。

給食の約束を身につけるため、最初は前向きで食べています。この先、緩やかにグループでの会食に移行していきます。



子どもに関わる大人がみんなで一緒に支える

子どもに関わる大人がみんなで一緒に支える

～今と未来を生きる子どもたちの育ちと学び～

横浜の教育が目指す人づくり ※「横浜教育ビジョン2030」より

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

主体的に考え学び続け、多様な人々と社会と関わり合うことを大切にします。
個性や能力を生かしながら、夢や目標にチャレンジし、よりよい社会や新たな価値を創造できる人を育てます。



知識及び技能



思考力・判断力
表現力など



学びに向かう力
人間性など

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、
園と学校双方の子どもたちの成長の様子や手立てなどについての
相互理解や協働を目指します。（「幼保小の架け橋プログラム」の実施）

子どものよさや
育ちがつながるよう、
園と学校の職員が
引継ぎなども
一緒に行っています

保育者と共有したい子どもの姿・方向性 ※「よこはま保育・教育ビジョン」より

「今と未来を生きる子どもを育てます」

- ①安心できる環境をつくり、一人ひとりを大切に保育します。
- ②子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを大切にします。



気付く・わかる
やってみようとする



考える
試す・工夫する



よりよい生活を
営もうとする



乳児期に育まれる信頼感・安心感が
生涯にわたる生きる力の基盤になります。



小学校以降の教育
教科等を通じた学び



5歳児～1年生
「架け橋期」

円滑な接続を目指す

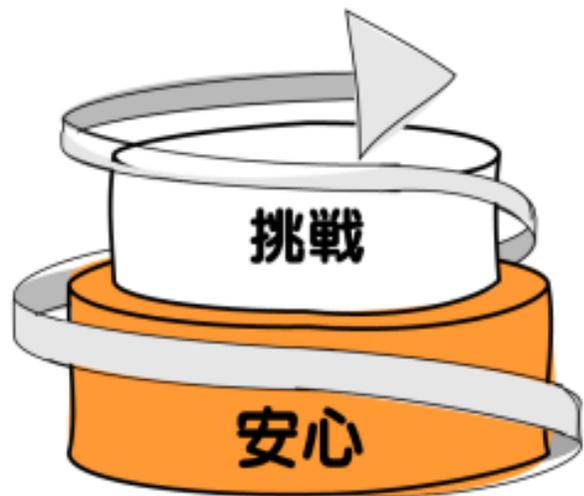
乳幼児期の教育
（幼稚園・保育園・認定こども園）
遊びを通じた総合的な学び

家庭・地域

横浜市のリフレットの3ページ目です。
小学校以降の教育へ、子どもたちの育ちと
学びをつないでいきたいと考えています。

それは小学校入学からすでに始まっていて、
幼児期の学びを発揮してほしいと思っています。
そのために、子どもの「安心」と「主体的
な遊び」を大切にしていきます。

「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切



こども家庭庁が出した、「はじめの100か月の育ちビジョン」と呼ばれているものの一部です。



豊かな遊びと体験



様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」

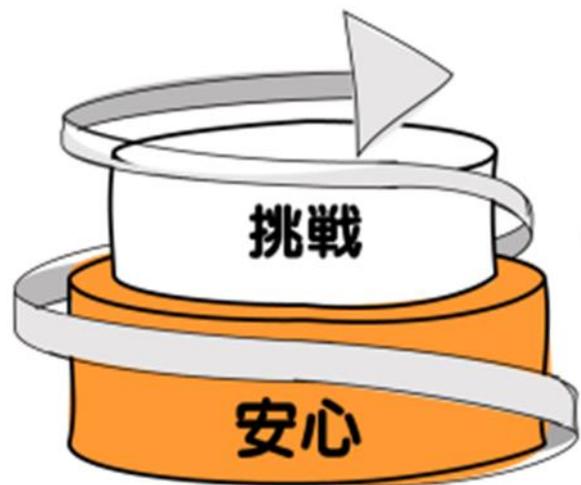


アタッチメント（愛着）



こどもが不安なときなどに身近な大人が寄り添うことや、安心感をもたらす経験を繰り返すことが、「安心」という土台を築く

子どもに関わる大人がみんなと一緒に支える



→ 面白がる子を面白がる大人のかかわり
(一緒に笑える嬉しさを感じる)

→ 頑張ったことや楽しかったことを聞く
(自分の良さや得意なことがわかる)

→ 「？」から「！」は急がずに
(答えまでの道のりの歩き方がわかる)

保護者の皆さんと一緒に、
こんなことを大切にして、
子どもを応援していきま
せんか？